

豆狸の寝言

副会長 三原幸二

最近、安価だけを売りモノにして一時は急成長し、マスコミにも取り上げられた企業が消費者から見捨てられ破綻したというニュースをよく耳にする。

そして、その企業の成長期のコメントはハンで押したように徹底的にムダを無くしたから安くできたという。

さて、本当のムダであったろうか。

その企業がムダと思ったものが、案外消費者の求めるそのものであったかもしれない。

いずれにしても、その企業が破綻したということに不謹慎だが心の安堵感はある。

今の時期、良い方策はないものかと必死になっているが、マスコミのアジテーションに右往左往するのではなく、自分の目で確かめ、相手の立場で物事を考える大切さを改めて知らされた。

そして、世の中ムダも少しは有ってもいいのではないかと考えた次第である。

(あっていいムダ) 2003年執筆

